

伊藤痴遊 いとうちゆう 講釋師。慶應二年一月十日武藏國生れ、昭和十二年九月二十五日歿（八六七―一九三八）。舊姓井上、本名に太郎。別號双木舎、痴遊夜士、痴遊閑人。自由黨に入り壯士として活動を、政治演説禁止令により双木舎痴遊と名乗りて政治演説を始める。昭和二年第一回普通選挙（衆議院議員當選）。また話術俱樂部を興し、可痴遊雜誌を發刊。可伊藤痴遊全集（正續全二十卷）（昭和四年―六年平凡社）刊。著書 可明治心動 井上侯實傳』（明治四十一年十一月―二月）二十一日博文館）、可陸奥宗光（全二冊）（明治四十四年六月一日、續編・四十五年一月）二十日東京堂書房）、可赤穂義士（大正九年十一月）二十日青二堂書店）、可痴遊隨筆（それからそれ）（大正十四年十一月十五日一誠社）、可新編 巨人傳』（大正十五年一月）二十五日登美澤書店）、可曲郷南洲・外編可僧月照』（大正十五年九月十日忠誠堂）、可政界疑獄實話』（昭和五年八月）二十八日平凡社（可明治大正實話全集））、可海舟先生之憶ふ（本名、合著・宮原八郎編、昭和八年十月）二十日清明會、清明文庫（清明文庫開設記念））、可抗東郷平八郎』（昭和九年九月）二十日郁文舎出版部）等。



痴遊雜法
天賜覽

伊藤痴遊著
昭和九年九月
郁文舎

六月號
 第四卷第六號